

2016年6月28日
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

夏のピーク電力削減には、ヒートポンプ・蓄熱システム ～『ヒートポンプ・蓄熱月間』がスタート～

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター（東京都中央区）では、各省庁・関係諸団体のご後援・ご協賛を賜り、毎年7月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、さまざまな活動を展開しています。

<ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けて活動する“ヒートポンプ・蓄熱月間”>

当センターでは、平成10年より冷房需要が本格化する毎年7月を『蓄熱月間』と定め、ピーク電力削減効果が高く、省エネ性・環境性に優れ、更には非常災害時には防災機能を兼ね備えた「ヒートポンプ・蓄熱システム」について、普及促進と技術向上を目的に、産官学と一体となり、さまざまな活動を展開してまいりました。

19年目を迎える本年は活動名称を『ヒートポンプ・蓄熱月間』へと変更しましたが、これまで同様、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大にご貢献いただいた76企業・団体への感謝状（盾）の贈呈をはじめ、NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子氏に特別講演をいただく「第13回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」、「電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー」等、普及促進活動を予定しております。

※実施概要については別紙をご参照ください。

<ヒートポンプ・蓄熱システムで“夏のピーク電力を削減”>

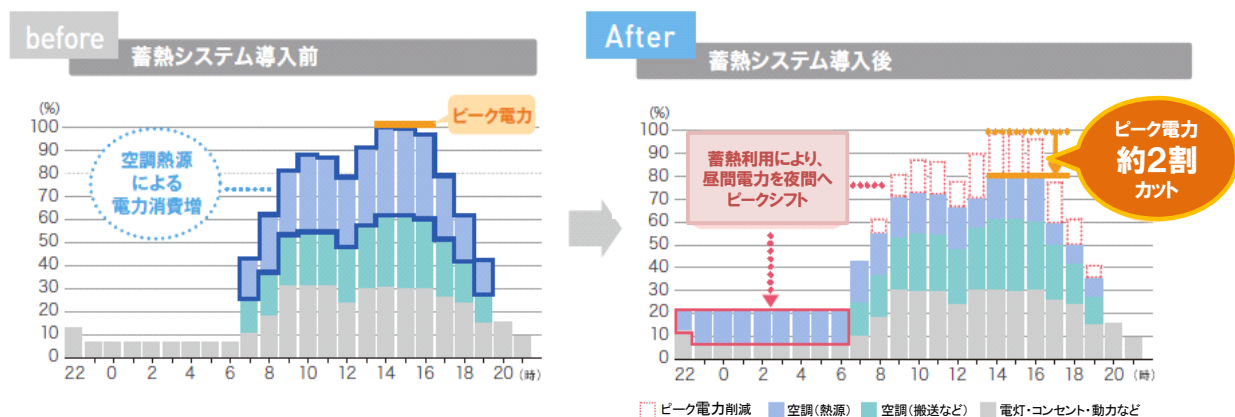
経済産業省からの報告によると、今夏においては、節電の定着等により需給状況が一定程度改善したため、東日本大震災以降初めて節電要請が見送りされていますが、仮に大規模な電源脱落や想定外の気温上昇による需要増等が発生した場合は、電力需給が逼迫する可能性もあることから、その需給逼迫への対策として発電設備の保守・保全の強化の要請やデマンドリスポンス等、需要面の取り組みを電力会社に求めている状況です。

このような状況において、ピーク時間帯を中心とする使用電力の削減については、引き続き重要な課題と考えられ、ヒートポンプ・蓄熱システムの効率的な運用は、これら課題の解決に大いに役立つものと考えております。

夏はピーク電力削減のカギは空調

夏季は昼間を中心に空調が最も多くの電力を消費しております。ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分以上を夜間に「蓄えた」冷水や氷で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約2割カットすることができます。

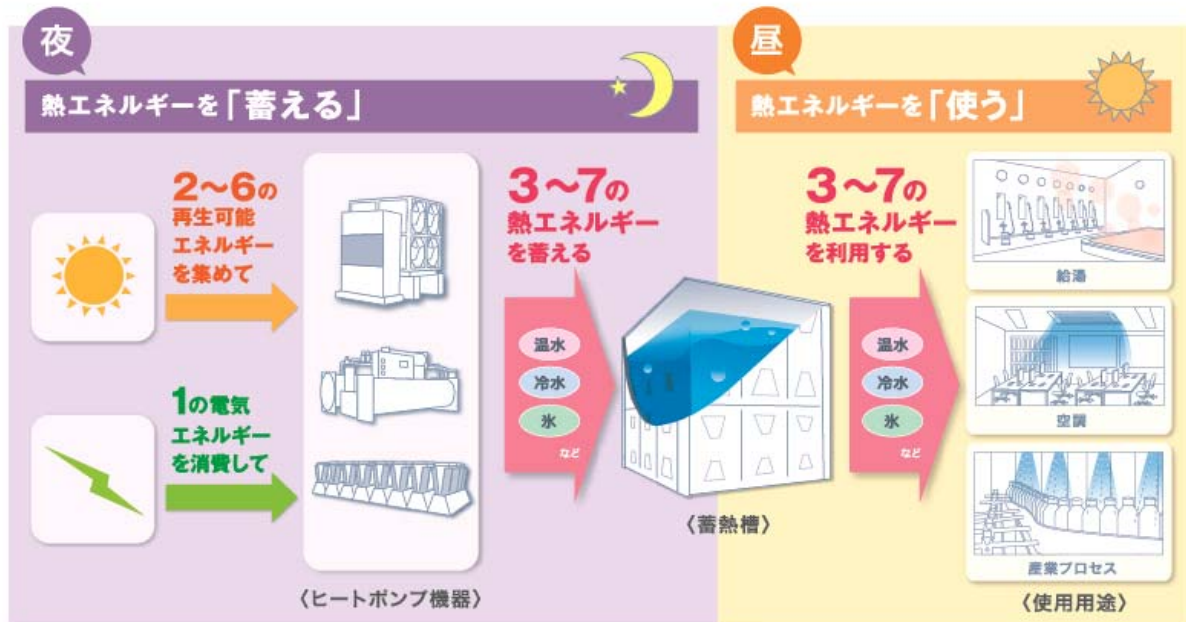
<事務所建物のモデルケース>



<給湯や産業プロセスなど様々な場面でヒートポンプ・蓄熱システムは活躍しています>

ヒートポンプ機器と蓄熱システムを組み合わせるヒートポンプ・蓄熱システムは、空調（冷暖房）や給湯、産業プロセス等に必要となる熱や冷熱を温水や冷水（氷）として夜間に蓄熱槽（タンク）へ「蓄えて」、昼間（必要となる時間）に取り出して「使う」システムです。このように蓄熱槽（タンク）とヒートポンプ機器を組み合わせることにより、省エネとピークシフト（本来昼間に使う電力の夜間移行）を同時に実現することができます。

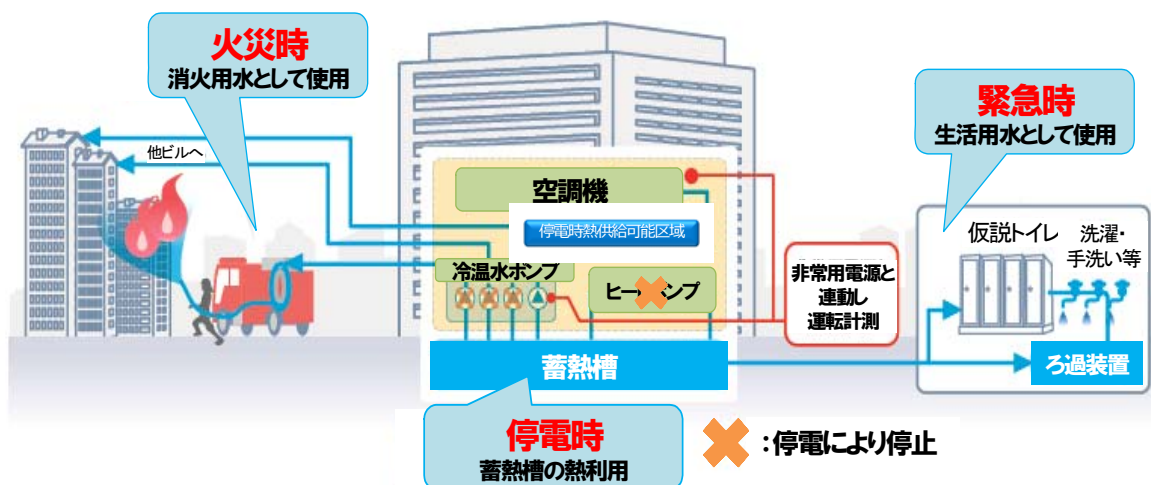
※ヒートポンプ機器は電気エネルギーだけでなく、空気や水などから自然の熱（再生可能エネルギー）を「集めて」熱を作るため、高効率な運転が可能です。



<ヒートポンプ・蓄熱システムは非常災害時にも活躍>

蓄熱槽の水は非常災害時には、トイレや手洗い等の生活用水や火災時の消火用水として、また、ろ過装置を備えれば飲料用水としても利用することができます。さらに、蓄熱槽水の活用として、災害時に停電となった場合でも、蓄熱槽水の保有熱を利用することにより、冷暖房を行うことができます。

<非常災害時における蓄熱槽水の利用イメージ>



<お問い合わせ先>

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 安部
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目28番5号 ヒューリック蛸殻町ビル6階
TEL. 03-5643-2401 FAX. 03-5641-4501

『ヒートポンプ・蓄熱月間』の実施概要

1. 目的

冷房需要が本格化する毎年7月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、ピーク電力削減効果が高く、省エネ性・環境性に優れ、更には非常災害時には蓄熱槽水を消防用水や生活用水として活用することが可能となる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に、産官学一体となり、さまざまな活動を実施いたします。主な活動内容として、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた76企業・団体への感謝状(盾)贈呈やセミナー・シンポジウム開催などの諸活動を実施いたします。

2. 期間

平成28年6月29日(水)～平成28年7月31日(日)

3. 活動内容

- (1) ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた76企業・団体への感謝状(盾)を贈呈

※詳細は参考資料1をご参照ください。

- (2) 第13回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの開催

環境性はもとより、省エネルギー性や経済性にも優れたヒートポンプ・蓄熱システムの運用改善による更なる性能向上や有効活用に向け、「有識者からの特別講演」および「ヒートポンプ・蓄熱システムに関する運転管理に係わる改善事例発表」等を実施するヒートポンプ・蓄熱シンポジウムを開催いたします。

<シンポジウム>

日 時	平成28年7月27日(水) 13:00～17:25 (12:30 受付開始)
会 場	グランキューブ大阪(大阪府国際会議場) 3F イベントホール A
特別講演	[講演内容] COP21(パリ協定)を踏まえて日本の温暖化対策を考える ーヒートポンプ・蓄熱システムの果たす役割ー [講演者] NPO 法人 国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子氏

<施設見学会>

日 時	平成28年7月28日(木) 10:00～12:30
会 場	ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター

※詳細は参考資料2をご参照ください。

- (3) 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナーの開催

有識者による蓄熱×ヒートポンプのスマート空調・給湯システムの最新技術に関する講演と電力負荷平準化や省エネに取り組む建物の紹介等を通じ、電力負荷平準化や省エネルギーの重要性を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進を実施いたします。全国10個所でセミナーを開催いたしますが、ヒートポンプ・蓄熱月間中においては福岡地区で開催を行う予定です。

※詳細は参考資料3をご参照ください。

<セミナー>

日 時	平成28年7月8日(金) 13:30～17:00 (13:00 受付開始)
会 場	福岡 電気ビル 共創館 A会議室

※上記以外では、東京(6/10 開催済み)、那覇(6/21 開催済み)、新潟(9/2 開催予定)、大阪(10/7 開催予定)、富山(10/14 開催予定)、札幌(10/28 開催予定)、名古屋(11/11 開催予定)、松山(11/18 開催予定)、広島(12/16 開催予定)でも同セミナーを開催いたします。詳細は当財団ホームページをご参照ください。

(4) 第 11 回再生可能エネルギー世界展示会への出展

当センターのブースを出展し、「ヒートポンプは再生可能エネルギー利用」、「ピーク電力の削減に貢献するヒートポンプ・蓄熱システム」という点を強く PR し、ヒートポンプ・蓄熱システムの更なる普及啓発を図ります。

<展示会>

日 程	平成 28 年 6 月 29 日(水)～平成 28 年 7 月 1 日(金)
会 場	パシフィコ横浜

(5) ヒートポンプ・蓄熱システム導入先見学会・セミナーの実施

エネルギー関係記者(新聞、専門誌、テレビ等)やユーザーを対象に、ヒートポンプ・蓄熱システムへの理解促進と記事化による一般ユーザーさまへの認知度向上を目的とした施設見学会・セミナーを開催いたします。また、同セミナーでは、リニューアル案件を含めた先進事例の採用ユーザーによる講演、設備の見学を実施し、当センターから普及状況や関連する先進事例の紹介等を実施いたします。

※開催先・開催時期は現在調整中。

4. 広報・告知関連の活動

(1)『ヒートポンプ・蓄熱月間』リーフレットの作成・配布

ヒートポンプ・蓄熱システムのピーク電力削減効果や省エネ・省 CO2 効果等について、分かりやすく説明したリーフレットを配布いたします。

(2)インターネットホームページにて告知

・当センターホームページにて、『ヒートポンプ・蓄熱月間』の告知を行います。

ヒートポンプ・蓄熱センター URL <http://www.hptcj.or.jp/>

以 上

『ヒートポンプ・蓄熱月間』の後援・協賛団体

『ヒートポンプ・蓄熱月間』では趣旨にご賛同をいただいた以下の関係省庁・団体からご後援・ご協賛を賜っております。

【後援】(11 省庁、3 国立研究開発法人)

経済産業省、警察庁、防衛省、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
国土交通省、環境省、国立研究開発法人 国立環境研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【協賛】(43 団体)

(一財)エネルギー総合工学研究所、(公社)空気調和・衛生工学会、
(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一社)建築設備技術者協会、(一社)建築設備総合協会、
(一財)建築保全センター、(一社)公共建築協会、(一社)住宅生産団体連合会、
(一財)省エネルギーセンター、(公社)全国ビルメンテナンス協会、電気事業連合会、
(一社)電気設備学会、(一財)電力中央研究所、東京商工会議所、
(一財)日本エネルギー経済研究所、(一社)日本エレクトロヒートセンター、(公財)日本環境協会、
(一社)日本機械学会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(一社)日本建築学会、(一財)日本建築センター、日本商工会議所、(財)日本消費者協会、
(公社)日本青年会議所、(一社)日本設備設計事務所協会、(一財)日本地域開発センター、
日本チェーンストア協会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本電設工業協会、
(公社)日本都市計画学会、日本百貨店協会、(一社)日本病院会、
(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一社)不動産協会、(一社)文教施設協会、
(一財)ベターリビング、(公社)ロングライフビル推進協会
(五十音順)

以 上

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状・特別感謝状贈呈先

ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた76企業・団体へ感謝状を贈呈

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、皆さま方のご支援のもと、冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、各省庁、団体よりご後援、ご協賛をいただき、「ヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進と技術向上」を目的にさまざまな活動を展開しています。

その一環として、さまざまなお立場からヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご尽力いただいた企業・団体の皆さまに感謝状を贈呈しております。今年は76企業・団体の皆さまに感謝状・特別感謝状を贈呈させていただきます。

ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞

蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「広める」、「活かす」という様々な観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた62企業・団体の皆さま

北海道 留寿都村 様 『るすつ子どもセンターぼっけ』 高効率な地中熱ヒートポンプによる躯体蓄熱空調、太陽熱集熱とエコキュートのハイブリッド給湯で、ピーク電力の削減と省エネを実現	北海道 六花亭製菓 株式会社 様 『六花亭・札幌本店』 高効率な地中熱ヒートポンプと、氷蓄熱空調を組み合わせピーク電力削減と、ピークシフトを実現した商業施設	北海道 株式会社 カワムラ 様 家庭用エコキュートの積極的な導入を進め、北海道内でのエコキュート採用数が増え、地場ビルダー	東北 株式会社 マエダ 様 新規店舗の給湯設備に、経済性・環境性に優れた業務用エコキュートを採用
東北 北秋田市 様 『もりよし学校給食センター』 安全・安心な給食センターを実現するため、環境性に優れたエコアイス・エコキュートを導入	東北 女川町 様 『女川温泉ゆぽぽ』 ヒートポンプ給湯システムの導入により、エネルギーの有効活用とコスト削減を実現	東北 中山町 様 『中山町学校給食センター』 業務用エコキュートの導入により、安全かつ環境性に配慮した給食センターを実現	東北 ヨネックス カントリークラブ 様 ハイブリッドヒートポンプ給湯機の導入により、省エネ・省コストを実現
関東 『京橋エドグラン』 京橋二丁目西地区市街地再開発組合 様 ヒートポンプと水蓄熱システムの導入により、大幅な省エネ・省コストを実現	関東 東芝メディカルシステムズ株式会社 様 『那須事業所』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 日本フェルト 株式会社 様 『栃木工場』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 株式会社 ミットヨ 様 『宇都宮事業所 清原生産部』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現
関東 日本光電富岡 株式会社 様 『富岡生産センタ』 A重油式吸収式冷温水発生器から電気式ヒートポンプへの更新による大幅な省エネを実現	関東 富士印刷 株式会社 様 『埼玉事業部』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 株式会社 報宣印刷 様 『埼玉工場』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 株式会社 トッパン 建築プロダクツ 様 『幸手工場』 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現
関東 富双合成 株式会社 久喜工場 様 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 株式会社 シェリエ 様 継続的にヒートポンプと蓄熱システムを採用。ランニングコスト抑制とピークシフトに貢献。	関東 株式会社 新都市ライフホールディングス 様 『パトリア福川』 蓄熱槽の継続利用と空冷式ヒートポンプチャラーの導入により、省エネ・省コストを実現	関東 川口市教育委員会 様 市内の幼稚園・小中学校にエコアイスminiを導入し、電力の負荷平準化に貢献
関東 日本ジェネリック株式会社 様 『つくば工場』 環境性や負荷平準化を目的に積極的に蓄熱方式を検討し採用している	関東 株式会社 ホテルマネージメントジャパン 様 『オリエンタルホテル東京ベイ』 水冷チャラーの導入と共にガス熱源との運用変更により、省エネと省コストの両立を実現	関東 茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院 様 空冷HP・大規模縦型蓄熱槽とターボ冷凍機を活用した空調システムによる省CO ₂ の実現	関東 株式会社 前川建築設計事務所 様 ヒートポンプ蓄熱システムを活用した美術館等における室内環境の改善とピーク電力の削減
関東 富士乳業 株式会社 様 氷蓄熱アイスバンクシステムの活用により、大幅な省エネを実現	関東 勝どき五丁目地区市街地再開発組合 様 再開発の進む湾岸エリアにおいて、大規模タワマンにエコキュートを採用し大幅な省エネを実現	中部 株式会社 エムジーホーム 様 エコキュート採用のオール電化分譲マンションを constants に供給	中部 株式会社 杉原工務店 様 ヒートポンプと蓄熱システムを導入・活用することにより省エネルギー性、経済性を実現
中部 株式会社 アーチザン 様 ヒートポンプと蓄熱システムを導入・活用することにより省エネルギー性、経済性を実現	中部 株式会社 ツルヤ 様 新築および改修店舗へのヒートポンプ給湯機の導入を標準化、寒冷地での普及に貢献	北陸 立山町 様 町庁舎でヒートポンプ空調導入や保育園へ地下熱利用空調導入により、省エネを推進	北陸 スプリングライフ金沢株式会社 様 介護施設の新築にあたり、環境性・経済性に優れたエコキュートを導入
北陸 医療法人社団 久藤総合病院 様 業務用エコキュートとヒートポンプ空調システムの導入により省エネ、省コストを実現	北陸 社会福祉法人 ふくい福祉事業団 若越ひかりの村 様 環境に配慮し、給湯設備を灯油ボイラーから業務用エコキュートにリニューアル	関西 東急不動産 株式会社 様 『ブランド池田栄町』 駅近至便な立地とエコキュートの利便性、経済性、環境性が融合した安心で快適な住まい	関西 南海不動産 株式会社 様 南海電気鉄道 株式会社 様 『ヴェリテ河内長野』 南海電気創業130周年記念事業として、河内長野市に11年ぶりの新築マンション分譲

関西 オリックス不動産 株式会社 様 『なかもずALLZ(オールズ)』 堺市最大級・総531邸のランドマークレジデンスとして、何でも揃う幸せのAtoZを集めたビッグプロジェクト	関西 有田川町長 中山 正隆 様 『かなや明恵峡温泉』 省コストを重視し、環境負荷低減、機器の安全性を考慮し蓄熱給湯ヒートポンプを導入	関西 野迫川小中学校 様 自然土壌を活用し新たな発想の蓄熱方式の採用により負荷平準化を実現	関西 ニッタ株式会社 様 高効率ヒートポンプの採用と既設の蓄熱システムにより大幅な省エネを実現
関西 堺市『さい利晶の杜』様 千利休・与謝野晶子をテーマとした文化観光施設。空調機器へのヒートポンプの導入と、導入後のきめ細かなチューニングにより、収蔵庫等の展示環境の信頼性と省エネ性を両立	関西 日清シスコ 株式会社 様 生産工程に使用する温水に対してヒートポンプ給湯機を導入し、運用改善を図ることにより省エネを実現	関西 加古川ウェルネスパーク 様 加古川ウェルネスパークは、ESCO事業で高効率な熱源システムへの更新、効果的な運転管理が可能な中央監視装置の導入を行ない、大幅な省エネを実現	関西 TBカワシマ 株式会社 様 生産ラインの温水利用工程において、ヒートポンプを導入され、省エネを実現
関西 八日市駅前商業開発 株式会社 様 ヒートポンプ空調システムの導入およびLED照明設備への更新と、更にEMS導入により事業所全体の大幅な省エネを推進	中国 株式会社 マルマン 様 各店舗におけるピーク電力削減と省エネを実現する蓄熱式ショーケースの導入	中国 株式会社 岡山和気ヤクルト工場 様 生産プロセス用冷却水蓄熱システムを採用し、ピーク電力を削減	中国 安田工業 株式会社 様 高効率ヒートポンプチラー採用により省エネ・省CO ₂ 等を実現
中国 旭酒造 株式会社 様 ヒートポンプと蓄熱システムを有効活用等の運転改善により、大幅な省エネを実現	中国 株式会社 ハウジングネットワン 様 エコキュートを採用した省エネマンションの普及拡大	中国 東亜地所 株式会社 様 エコキュートを採用した次世代省エネマンションの普及拡大	四国 株式会社 御所リゾート 様 『天然温泉御所の郷』 設備リニューアルで、高効率ヒートポンプと排熱回収チラーなどの活用により、大幅な省エネを実現
四国 社会医療法人 近森会 様 環境に配慮した高効率ヒートポンプと業務用エコキュートの導入により、省エネを実現	四国 伊予市 学校給食センター 様 蓄熱システムの導入により、環境負荷低減を実現	四国 後藤設備工業 株式会社 様 環境に配慮した高効率ヒートポンプの導入により、大幅な省エネを実現	九州 行橋市 様 『防災食育センター』 昼間に大量に使用する給湯を夜間に蓄えて(エコキュート及び電気式簡易ボイラー)大幅な省エネを実現
九州 神埼市 様 『神埼市憩の家』 ヒートポンプ給湯により、大幅な省エネを実現	九州 株式会社 JR大分シティ 様 大分の玄関口であるJR大分駅に隣接する複合商業施設で高効率熱源機と水蓄熱システムを採用	沖縄 社会福祉法人 中陽福祉会 様 『特別養護老人ホームあやはし苑』 省エネ性・経済性に優れた業務用ヒートポンプ給湯機の導入	沖縄 社会医療法人 かりゆし会 様 『ハートライフ地域包括ケアセンター』 省エネ性・経済性に優れた業務用ヒートポンプ給湯機の導入
沖縄 沖縄ナハナホテル & スパ 様 省エネ性・経済性に優れた業務用ヒートポンプ給湯機の導入			

特別 感謝状

未利用エネルギー等を活用した高効率ヒートポンプシステムを導入された14企業・団体の皆さま

東北 八幡平市 様 『八幡平市庁舎』 地中熱ヒートポンプと蓄熱システム等を活用し、CO ₂ の削減と大幅な省エネを実現	東北 有限会社 ホテル光雲閣 様 未利用エネルギーを活用したヒートポンプ・蓄熱システムにより、大幅な省エネを実現	東京 東京都市サービス 株式会社 様 『箱崎地区熱供給センター』 河川水の熱を利用したヒートポンプ・蓄熱システムを更新し、更なる高効率化を実現	中部 東レ 株式会社 様 『岐阜工場』 井水熱を活用したヒートポンプシステムの導入により、大幅な省エネ・省CO ₂ を実現
中部 サッポロビール 株式会社 様 『静岡工場』 工場排水の熱を回収するヒートポンプを導入し、大幅なCO ₂ 削減を実現	北陸 国立大学法人 福井大学 様 『松岡キャンパス』 蓄熱空調運用改善、未利用エネルギーの活用により、省エネ・ピーク電力抑制を実現	関西 イオンモール 株式会社 様 株式会社 竹中工務店 大阪本店 様 『イオンモール堺鉄砲町』 全国初となる下水再生水の給湯と空調の熱源利用および熱源と水源の複合利用を行い、省エネ・省CO ₂ を実現	関西 株式会社 オンテックス 様 『美笹のゆ』 銭湯から出る排熱(排湯)をヒートポンプで回収することで省エネを実現
中国 医療法人 養和会 様 『養和病院・仁風荘』 地中熱を利用したヒートポンプシステムにより大幅なCO ₂ およびランニングコスト削減を実現	中国 株式会社 イズミ 様 『ゆめタウン廿日市』 地中熱ヒートポンプをはじめ高効率システムの導入による消費電力の大幅削減を達成	四国 新居浜市総合文化施設・新居浜市美術館 様 『あかがねミュージアム』 高効率な井水熱源ヒートポンプを活用した放射冷暖房システムにより、大幅な省エネを実現	九州 株式会社 日鰻 様 株式会社 日洋 様 養鰻池廃熱回収及び地中熱利用ヒートポンプ導入による加温システムの省エネを実現

《イベント取材のご案内》

『ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』開催

「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理面”などから優れた8事例を表彰
設備オーナーをはじめ、設計、施工、運転管理者約 230 名が参加

7月27日(水) 13:00~17:25 「グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
3階 イベントホールA」

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、ピーク電力削減や省エネルギー、CO₂排出量削減に貢献する「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理”において優れた改善をあげた事例を発表する『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を、7月27日(水)、「グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)3階 イベントホールA(大阪市北区)」にて開催します。

「ヒートポンプ・蓄熱システム」は、電力需要の少ない夜間に効率の良いヒートポンプ機器で水や氷に熱を蓄え、昼間の空調などに活用し、ピーク電力(昼間の電力)の削減と省エネルギー、CO₂削減を同時に達成できるシステムです。しかし、同システムは、“導入すれば完了”ではなく、その能力が最大限に発揮されるよう、システムが常に最適な状態で運転されるためのたゆまぬ維持・改善が必須となります。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、この度、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の運転管理、運用、設備の改良などにより改善のあった事例とヒートポンプ・蓄熱システムの運用によるピーク電力削減や非常災害時の対応などの有効活用事例及び未利用エネルギーを活用したヒートポンプシステムの運用改善事例を広く募集し、優秀な8事例を表彰することとしました。これに伴い、『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を開催し、それら事例の中から3つの優秀事例に関する発表を行います。この表彰の取り組みと、シンポジウムの開催は、本年度 13 回目となり、今回も、設備オーナーをはじめ、設計、施工、運転管理者が約 230 名参加する予定です。また、NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子 氏からの「COP21(パリ協定)を踏まえて日本の温暖化対策を考えるーヒートポンプ・蓄熱システムの果たす役割ー」と題した特別講演の他、「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割」(仮題)というテーマで、大阪大学 大学院工学研究科 教授 相良 和伸 氏をコーディネーターとし設計事務所、建設会社、電力会社、ユーザーをパネリストとしたパネルディスカッションも予定しています。

◆ 入賞事例

昭和電工株式会社 事業開発センター	蓄熱式空調システムの設備・運転管理改善による省電力
箱崎地区熱供給センター第1プラント	蓄熱および河川水熱の利用における運用・システムの改善について
横浜市鶴見区総合庁舎	水蓄熱システムの設備改修とさらなる運用改善

つきましては、本シンポジウムを報道関係の皆様には是非ご取材いただきたく存じます。

ご多用中とは存じますが、ご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

『第 13 回ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』に関する概要

日 時	2016 年 7 月 27 日(水) 13 時 00 分～17 時 25 分 (受付 12 時 30 分開始)		
会 場	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場) 3階 イベントホールA (大阪市北区中之島5丁目3番51号)		
交 通	京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」2番出口すぐ, JR大阪環状線「福島駅」から徒歩15分		
内 容 (予定)	主催者挨拶	13:00～ 13:10	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 専務理事 林 光明
	特別講演 『COP21(パリ協定)を踏まえて日本の温暖化対策を考えるーヒートポンプ・蓄熱システムの果たす役割ー』	13:10～ 14:20	NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子氏
	休憩	14:20～ 14:25	
	改善事例の受賞者紹介、講評	14:25～ 14:40	審査委員会 委員長 東海大学 工学部建築学科 教授 坪田 祐二 氏
	優秀改善事例発表	14:40～ 16:00	「昭和電工株式会社 事業開発センター」 「箱崎地区熱供給センター第1プラント」 「横浜市鶴見区総合庁舎」 の3事例を発表
	休憩	16:00～ 16:10	
	パネルディスカッション (仮題) 『ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割』	16:10～ 17:20	コーディネーター: 大阪大学 大学院工学研究科 教授 相良 和伸 氏 パネリスト: 日建設計 設備設計部 主管 牛尾 智秋 氏 大林組 大阪本店 建築事業部 設備設計部 課長 井守 紀昭 氏 第一ビルディング 本社ファシリティ事業部 副部長 井利 久 氏 関西電力 お客様本部 本部計画グループ 副部長 木虎 久隆 氏
	閉会挨拶	17:20～ 17:25	シンポジウム実行委員会 委員長 原田仁
お問合せ先	一般財団法人 ヒートポンプ蓄熱センター 蓄熱技術部 : 和田 TEL :03-5643-2403		

FAX 送付先 03-5641-4501

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部： 和田 宛

『第13回ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』

日時： 7月27日(水) 13時00分～17時25分

会場：グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
3階 イベントホールA

↓ 参加が一部の場合は、下記に○印をご記入下さい(全てご出席の場合は不要です)

	特別講演	13:10～14:20
	改善事例の受賞者紹介、講評	14:25～14:40
	優秀改善事例発表	14:40～16:00
	パネルディスカッション	16:10～17:20

貴社名：

貴媒体名：

貴部署名：

役 職：

ご芳名：

T E L：

F A X：

E - m a i l：

ありがとうございました。

お手数をお掛けしますが、本出欠票を、7月14日(木)までにFAXにてお送りくださいますようお願い申し上げます。

参加費無料
定員100名（先着順）

蓄熱×ヒートポンプ ＝スマート空調・給湯システム

○電力ピークの削減や熱の回収・再利用、災害時にも役立つ蓄熱

○投入されたエネルギーの数倍もの熱エネルギーを取り出すヒートポンプ

◆有識者をはじめ第一線でご活躍の講師陣

◆蓄熱×ヒートポンプのスマート空調・給湯システムの最新技術・事例を紹介



2016
7/8(金)

13:30～17:00
13:00受付開始

会場 福岡 電気ビル
【共創館 A会議室】
福岡市中央区渡辺通2-1-82
電気ビル共創館3階

アクセス 西鉄薬院駅より徒歩7分
地下鉄七隈線渡辺通駅より
電気ビル本館B2Fへ直結

主催：一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

協賛：20団体（順不同）

(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)建築設備技術者協会、
(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一財)建築保全センター、
(一社)建築設備総合協会、(一社)日本設備設計事務所協会、
(一社)公共建築協会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、
(一財)省エネルギーセンター、(公社)全国ビルメンテナンス協会、
(一社)電気設備学会、(一社)日本ビルヂング協会連合会、
(一社)日本建築学会、(公社)ロングライフビル推進協会、
(一財)日本建築センター、(公社)日本冷凍空調学会、
(一社)日本冷凍空調工業会、電気事業連合会、
(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

予定プログラム

1. 「ヒートポンプ・蓄熱システムのリテラシー」

東京電機大学 常務理事 未来科学部 建築学科 教授 射場本 忠彦 氏

2. 「省エネルギー政策の動向について」

経済産業省 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長補佐 永谷 圭市 氏

3. 「伊万里有田共立病院のヒートポンプ・蓄熱システムの導入事例」

株式会社日建設計 エンジニアリング部門 設備設計グループ 設備設計部 主管 塚見 史郎 氏

4. 「業務用ヒートポンプ給湯機の導入・設計事例のご紹介」

ダイキン工業株式会社 空調営業本部 テクニカルエンジニアリング部 主事 岡村 雅則 氏

本セミナーは建築CPD運営会議が運営している建築CPD(継続能力／職能開発)情報提供制度の対象となります。CPD記録をご希望の方は参加者ID(建築士登録番号もしくは建築設備士番号でも可)を確認の上、セミナー当日受付にてお手続き下さい。

●参加申込書 参加ご希望の方はWEB(<http://www.hptcj.or.jp/>)のセミナー申込フォームからお申込みいただくか
7/1締切! 下記に必要事項をご記入の上、FAX：03-5641-4501宛にお送りください。後日、受講証を発行いたします。

ご芳名	(加)	MAIL						
ご所属	会社名		業種	☐ 官公庁	☐ 各種団体	☐ ゼネコン	☐ サブコン	☐ 設計事務所
	部署名			☐ メーカー	☐ エネルギー	☐ 学校関係	☐ 学生	☐ その他
	連絡先	(〒)		TEL:()	-			
				FAX:()	-			

●問い合わせ先 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部 セミナー事務局 TEL:03-5643-2403

(※ご記入いただいたお客さまに関する情報は、セミナーの応募者の把握、受講証発行およびセミナー協賛各社に必要な範囲で

開示・提供する場合のみにご利用させていただき、第三者（当センターと契約を締結した業務委託先を除く）に開示・提供を行いません。）

福岡
(7/8)

スマート空調は

S + 5R

～蓄熱×ヒートポンプのスマート空調システム～

